

外来診療科	月	火	水	木	金	備考	
内科	午前	○	○	○	○	○	
	午後						午後の定期診療は一時中止しています
消化器内科	午前	○	○	○	○	○	
	午後					■	■金曜日（奇数週のみ）午後：内視鏡予約検査
循環器内科	午前	○	■	○	○	○	■第2・第4火曜日は休診です
	午後						
小児科	午前	○	○	○	○	○	
	午後	○	○	○	○	○	町の健診終了時間により午後の診察時間が変わります
整形外科	午前	○	○	○	○	○	
リハビリテーション科	午前	○	○	○	○	○	
脳神経外科	午後				○		受付時間…7:00～15:00
婦人科	午前				○		
泌尿器科	午前	○		○		○	平成28年4月より、火・木曜日の診療は中止しています
人工透析	午前/午後	○		○		○	
耳鼻咽喉科	午前				○		■火曜日の診察は偶数週（第2・第4）のみです
	午後		■		○		受付時間…（火）7:00～14:00（木）7:00～14:30
眼科	午前	○	○	○	■	○	■木曜日：予約検査のみ
皮膚科	午前	○					月曜日：完全予約制です（直接ご来院下さい）
精神科	午前			○			受付時間…7:00～15:00

！平成29年4月より、**皮膚科**の診察曜日が**火曜日**に変更となります。受付・診療時間、予約方法の変更はありません。

平成27年度 利用状況	消化器内科		眼科		紹介機関		紹介患者数		内CT	内MRI
	消化器内科	149	眼科	100	診療所	574	70	3		
	循環器内科	246	脳神経外科	34	病院	369				
	小児科	34	内科	544	老健施設	75				
	整形外科	317	皮膚科	35	特養老人ホーム	1				
	リハビリテーション科	0	泌尿器科	95	厚生連病院	600				
	婦人科	10	精神科	24	グループホーム	0				
	耳鼻咽喉科	31	合計	1,619	合計	1,619				

連絡先 湖東厚生病院 地域医療連携室

代表電話 018 (875) 2100
 直通FAX 018 (875) 5421
 業務時間 平日 8:30～17:00
 住所 南秋田郡八郎瀧町川崎字貝保98番1

湖東厚生病院 018-875-2100 (代) Fax 018-875-5269



湖東厚生病院 地域医療連携室だより

ことうの鐘

Vol.9



平成28年9月10日、病院祭を開催しました。当日は多くの出店や催事があり、お越しいただいた地域の皆さまにも喜んでいただけたようでした。

立春も過ぎ、雪に囲まれながらも春という言葉がただけで、「暖かい春」を連想しわくわくする気分を感じる今日この頃です。もう少し寒い時期が続きますが、皆さまにとって今年1年が良い年になりますように心よりお祈り申し上げます。

さて、開院後3年目の当院では、60名の入院患者さんが病院での新年を迎えられました。入院や通常の外来に加え、週3回の夕暮れ診療や長期休業時の臨時外来についても周知され利用していただき、地域の皆さんの安心につながっているのではないかと自負しています。

看護部では昨年、地域の中で当院に求められるケアの質向上ということで特に最期まで口から食べることを目標とする摂食嚥下ケアに力を入れて取り組んでまいりました。食べることの喜びをご家族と共有し、生きるとはということなのかを考えさせられた年でした。緩和ケアや認知症ケアなども含めて、患者さんとご家族が望む場所で生活できるように地域の連携担当の皆さんのご協

力をいただき、退院後の生活を見据えた援助にも取り組んでまいりました。また、訪問診療・訪問看護をはじめ、外来での自己注射等の開始に伴う生活指導や、輸血・化学療法などの特殊治療、局所麻酔等の簡単な手術にも対応してまいりました。今年は、それらの取組をさらに充実させ、これまで以上に地域の皆さまの安心につながるような看護を提供できるよう取り組んでまいります。

酉年の「とり」は、「とりこむ」ということで実りにつながる縁起の良い年と言われています。これまで病院の土台作りで取り組んできたことを良い看護として提供できるよう、一人一人の患者さんと向き合い、看護部の理念である「いたわりの心で優しい手を添える、真心こめた看護の実践」に取り組んでまいります。お気づきの点がございましたらいつでも遠慮なくご意見をいただければ幸いです。本年もよろしく願いいたします。

看護部長 佐々木 由美子

部門紹介

当院のリハビリテーション科をご紹介します。

Introduction : Rehabilitation

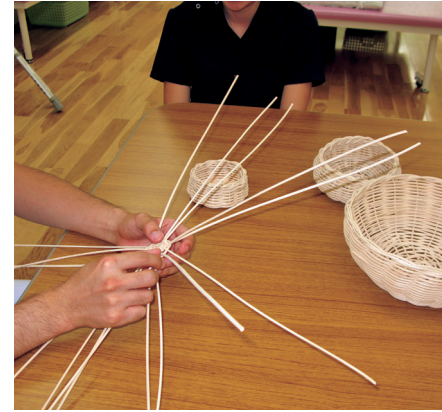


当リハビリテーション科は5名の理学療法士と2名の作業療法士が在籍し、運動器疾患や脳血管疾患、臥床による廃用症候群の方々の生活復帰を目指したリハビリを行っています。期間としては一般病棟の2～3週間と、地域包括ケア病棟の

最長60日間を利用した入院リハビリとなります。毎日のリハビリに加え、福祉用具導入や住宅改修の相談も行っており、必要な場合は自宅を訪問し「退院前訪問指導」も行っています。定期的に看護師、リハビリスタッフ、ケアマネージャー等、多職種が集まったカンファレンスを行い、退院に向けて介護関連職種との連携を図っています。また、当院が目指す「最期まで口から食べてもらうこと」を目標に、食事姿勢の調整を行い、摂食・嚥下機能の回復をサポートしており、更なる支援体制の強化も図っていきたくて考えております。

5名の理学療法士のうち1名は訪問看護ステーションに在籍し、自宅に定期的に訪問してリハビリを行う「訪問リハビリテーション」を行っております。この訪問リハビリと連携することで、通院や入院中に獲得した身体能力を十分に活かして、生活の質の向上を支援することを目指しています。

このような取り組みにより、患者さんその人らしい生活を支えるリハビリテーションを提供してまいりますので、対象となる方やご希望される方がいらっしゃいましたら是非ご相談ください。



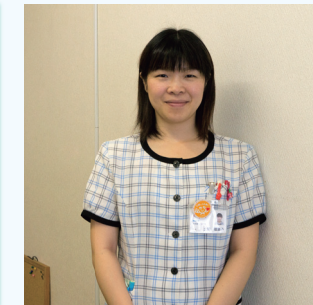
地域医療連携室

ご利用の流れ



- ①紹介元医療機関様より「紹介患者様用診療申込書」を地域医療連携室へFAX送信していただきます。
(※お急ぎの場合は直接お電話いただいております)
- ②地域医療連携室で各科外来と受診日調整を行い、紹介元医療機関様にFAXにて受診日等をお知らせいたします。
- ③紹介元医療機関様より患者様へ「診療情報提供書」を渡していただき、受診日等のご説明をお願いします。
- ④紹介患者様の受付は、当院「紹介患者様窓口（正面受付）」にて外来事務職員が対応させていただきます。
- ⑤受診後、地域医療連携室より速やかに紹介元医療機関様へ「受診報告書」をFAXさせていただきます。

連携室担当紹介



連携室担当の土田と申します。当院との連携につきましては、日頃からご協力をいただき誠にありがとうございます。当院と医療機関さまの窓口としてスムーズな連携を心がけ、皆様のご期待に応えられるよう頑張っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

地域医療連携に係わる 多職種意見交換会

平成28年10月28日、当院主催の第3回地域医療連携多職種意見交換会を「医療と介護のケア連携について、～安全な食事環境を整えるために～」をテーマに開催いたしました。当日は湖東地域の施設、居宅介護事業所から、多職種の方々約20名の参加を頂き、連携強化に向けて意見交換や情報共有が行われました。

はじめに、当院の摂食嚥下ワーキンググループ小池裕美看護主任が食事介助のポイント、ワーキンググループの目的、口腔内の環境、高齢者の嚥下機能の特徴について講演を行いました。次に大塚製薬工場サプリメントアドバイザー三浦一将氏より、「経腸栄養管理～最近の話題～」として、液体濃厚流動食品の特徴や種類について紹介いただきました。

後半はグループでの意見交換を行いました。

参加者からは「食事介助の基本について振り返ることができた」、「誤嚥を予防するための知識を学ぶことができた」、「経管栄養について新しい情報を得ることができた」といった感想が聞かれました。

また、嚥下評価を行い、経管栄養から経口摂取へ移行できる場合は、院外からの相談にも対応していきたくて考えております。

今後も、意見交換を継続して医療と介護の連携を図り、患者にとってより良いサービスが提供できればと考えております。

